

おでかけだより

春号 NO. 37

平成25年4月1日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

ちょこっとサポート ♪ NEKO (ネコ) の手スタート!

前回のおでかけだよりで皆様にお知らせしました「ちょこっとサポート・NEKO(ネコ)の手」が、いよいよスタートしました。



サービスを担うサポーターには、正会員・賛助会員をはじめ、運転協力員や利用者の家族の方、またこのサポーター登録をきっかけに賛助会員になっていただいた方など22名の方が登録してくださいました。そして2月にはサポーター登録者を対象として、利用者に安心してこのサービスを利用していただく為に、サポートを始めるにあたっての心得や注意すべきことなどを学び合う研修も行い、こんなサポートをしたいねとみんなんで思いを話し合いました。その後も着々と準備をすすめ、「どんな依頼がくるのかしら？」とわくわくしながらサービス開始の3月を迎えました。

最初のサポートは、車椅子での階段介助でした。いつもは家族に手伝っていただき運転協力員が行っている自宅玄関から道路に出るまでの6段の階段介助を、この日は家族が手伝えないとので、ネコの手サポーターが行いました。車いすの後輪を階段に沿わせ、運転協力員と息を合わせ1段1段ゆっくりと降りて行きました。そして病院からの帰りも指定された時間に自宅前で待機し、同じように玄関内までサポートを行い、初めてのネコの手サポートが無事終了しました。

まだまだ始まったばかりのサービスですが、いろいろな事に利用していただき、サポートの質を皆さんと共に高めていけたらと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

(利用できる方やサービスの内容に制限がありますが、お気軽にご相談ください。) [野口 恭子]



N・・・なんでも
E・・・えんりょなく
K・・・こまったときの
O・・・おてつだい

キャンセル料改定のお知らせ

これまで当日キャンセルの場合のキャンセル料は1000円としておりましたが、2013年4月以降は650円に改訂させていただきます。キャンセルは、出来るだけ前日までにご連絡頂きますよう、お願いいたします。

問合せ先 NPO法人 おでかけサービス杉並 (担当 野口)

TEL 03-6425-8584 / FAX 03-5397-1755



『安心りらくすツアー』

～おでかけ企画とサポートを行いました～

「NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン」が主催し、開催している「「コミュニティカフェ」ボランティア養成研修」の企画の一環として、介護する人、される人のための日帰りの小さな旅（安心りらくすツアー）を行うこととなり、わたくしたち「おでかけサービス杉並」がこの企画づくりと実施を担当しました。

3月18日、薄曇りの一日でしたが、付添いのご家族も含め応募された6家族16名の方を、6台の車であきるの市の「瀬音の湯」にお連れしました。

同行するサポーターは運転者も含め17名、万一の備えに看護師や旅支援の専門家であるトラベルヘルパーの参加もお願いし、参加者に安心して一日を過ごして頂けるよう準備をしました。

目的地である「瀬音の湯」では、サポーターの介助で本物の温泉にゆっくりとつかり、食事を一緒に楽しみ、そして休息と交流の時間を持ちました。

介護する息子さん、娘さん、お嫁さんなどが日頃の苦労話や情報交換をしている間に、ご両親たちはボランティアが散策にご一緒したり、お昼寝をされる方等、それぞれに時を過ごされていました。参加された当事者の方、及びご家族からは“夢のような一日だった”との嬉しい感想も頂戴し、準備に奔走したスタッフも、また喜びを共に分かち合うことが出来ました。

私たち、おでかけサービスのメンバーにとっても、このような本格的なおでかけ企画は初めてでしたが、とても良い経験が出来たと思います。

この経験を活かし、おでかけサービスのご利用者のみなさまをお誘いする機会を持てたらと話合っています。



〔樋口 蓉子〕



退任のあいさつ

川上 仁



運転免許更新に当たり、70歳になるため、規定により「高齢者講習」を受けました。診断結果は同一年齢層並でしたが、やや注意が行き届かない点もある、との事でした。

歳を重ねても、変わらぬ運転が出来る方も大勢おられますが、私は自信が持てなくなり、2月末で運行員を退任する事と致しました。

定年退職し何か地域活動をとっていたところお誘いを頂き、おでかけサービスの設立にも関わり、運転を始める事となりました。当初は運転協力員も少なく、同じ利用者の方と何度も一緒にさせて頂き、顔も覚えて頂きました。通院通所以外にも、趣味の会、食事会への送迎など、利用者の方々の移動に微力ながらお役に立てたのでは、と緊張感と充実感のあった運行の日々の事を思い起こしております。

長い間誠に有難う御座いました。

なお、おでかけサービスの一員としては引き続き活動して参りますので、宜しくお願い致します。



コーディネーター 野口 恭子

一気に春めいて、桜の花もあつという間に満開ですね。

縮こまっていた身体を動かす良い季節になりました。

先日、東京ハンディキャブ連絡会が主催する“移送サービスのつどい”があり、その中の“コーディネーターのつどい”に参加しました。

都内で活動する8団体の担当者が、役割や業務についての講習の後、それぞれの団体の悩みや工夫などの情報交換を行いました。

コーディネーターは、利用者をきちんと理解して安全な運行につなぐことはもちろんですが、たとえ利用者のニーズが団体の枠を超えたとしても、ただ断るのではなく日ごろから地域の資源を把握しておき、コーディネートできるようにしていくことが大切ということを再認識しました。